

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【保健体育】学年【3年】担当者 上坂 真代

知 知識・技能

思 思考・判断・表現

態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
	・健康な生活と疾病の予防 ・健康と環境	1.感染症の広がり方 2.感染症の予防 3.環境への適応能力 4.活動に適する環境 5.飲料水の衛生的管理 6.室内の空気の衛生的管理 7.生活に伴う廃棄物の衛生的管理	知	<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて、理解している。</p> <p>②身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、また、体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解している。</p> <p>③温度、湿度、気流の温熱条件には、人間が活動しやすい至適範囲があること、温熱条件の至適範囲は、体温を容易に一定に保つことができる範囲であること、明るさについては、視作業を行う際には、物がよく見え、目が疲労しにくい至適範囲があること、その範囲は、学習や作業などの種類により異なることについて、理解している。</p> <p>④水は、人間の生命の維持や健康な生活と密接な関わりがあり重要な役割を果たしていること、飲料水の水質については一定の基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していること、飲料水としての適否は科学的な方法によって検査し、管理されていることについて、理解している。</p> <p>④室内の二酸化炭素は、人体の呼吸作用や物質の燃焼により増加すること、そのため、室内的空気が汚れてきているという指標となること、定期的な換気は室内的二酸化炭素の濃度を衛生的に管理できること、空気中の一酸化炭素は、主に物質の不完全燃焼によって発生し、吸入すると一酸化炭素中毒を容易に起こし、人体に有害であることについて、理解している。</p> <p>⑤人間の生活に伴って生じたし尿やごみなどの廃棄物はその種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理されなければならないことについて、理解している。</p>	<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、また、体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③温度、湿度、気流の温熱条件には、人間が活動しやすい至適範囲があること、温熱条件の至適範囲は、体温を容易に一定に保つことができる範囲であること、明るさについては、視作業を行う際には、物がよく見え、目が疲労しにくい至適範囲があること、その範囲は、学習や作業などの種類により異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④水は、人間の生命の維持や健康な生活と密接な関わりがあり重要な役割を果たしていること、飲料水の水質については一定の基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していること、飲料水としての適否は科学的な方法によって検査し、管理されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤室内の二酸化炭素は、人体の呼吸作用や物質の燃焼により増加すること、そのため、室内的空気が汚れてきているという指標となること、定期的な換気は室内的二酸化炭素の濃度を衛生的に管理できること、空気中の一酸化炭素は、主に物質の不完全燃焼によって発生し、吸入すると一酸化炭素中毒を容易に起こし、人体に有害であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥人間の生活に伴って生じたし尿やごみなどの廃棄物はその種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理されなければならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>・定期テスト(6月) ・保健ノート</p>

	<p>思</p> <p>①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。 ②健康と環境について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、疾病等のリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を選択している。</p>	<p>①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見し、課題解決に取り組み、健康を保持増進する方法を選択している。 ②健康と環境について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、疾病等のリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を選択し、他者と話し合ったり、ワークシートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>・定期テスト(6月) ・保健ノート ・授業での見取り</p>	
	<p>態</p> <p>①健康と環境について、課題の解決に向けた学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>①健康と環境について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>・保健ノート ・授業での見取り</p>	
<p>・健康な生活と疾病の予防</p> <p>1.性感染症の予防 2.エイズの予防 3.医薬品の利用 4.保健・医療機関の利用 5.健康を守る社会の取り組み 6.保健の学習を振り返ろう</p>	<p>知</p> <p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて、理解している。 ②エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について、感染を軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解している。 ③医薬品には、主作用と副作用があること、使用回数、使用時間、使用量などの使用法があり、正しく使用する必要があることについて、理解している。 ④健康の保持増進や疾病的予防のために、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であることについて、理解している。</p>	<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について、感染を軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③医薬品には、主作用と副作用があること、使用回数、使用時間、使用量などの使用法があり、正しく使用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④健康の保持増進や疾病的予防のために、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>・定期テスト(6・11月) ・保健ノート</p>	
		<p>思</p> <p>①感染症の予防や健康を守る社会の取組における事柄や情報などについて、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。 ②感染症の予防や健康を守る社会の取組について、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりしている。</p>	<p>①感染症の予防や健康を守る社会の取組における事柄や情報などについて、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。 ②感染症の予防や健康を守る社会の取組について、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>・定期テスト(6・11月) ・保健ノート ・授業での見取り</p>
		<p>態</p> <p>①感染症の予防及び健康を守る社会の取組について、課題の解決に向けた学習に取り組もうとしている。</p>	<p>①感染症の予防及び健康を守る社会の取組について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>・保健ノート ・授業での見取り</p>